

# 集団的自衛権反対！緊急抗議行動

七月一日、政府は集団的自衛権行使などを容認する閣議決定を強行した。「自衛隊が地球の裏側まで行って殺し殺される武力行使をやる」とした。

◆ 現行憲法のまま九条の平和主義を死文化した。

◆ 憲法は権力を縛るための基本法。それに縛られなければならない政府が、「解釈を変える」という方便で好き勝手に憲法を変えた。立憲主義の否定であり、クーデターとも言うべき民主主義の否定だ。



「閣議決定許さん！」と、連日全国で抗議行動。大阪では服部前議員らの呼びかけで2日間、自民党へ抗議。6月30日400人(上)。7月1日は600人が歩道を埋めた。国会前歩道上の市民(真中)。閣議決定前、公明党本部を囲んだ市民(下)。



◆ 閣議決定の内容に「：国民の生命、自由、および幸福追求の権利が根底から覆される明白な危険がある」等を入れたから

「限定的」というが判断するのは権力者、歯止めにはならない。

◆ 閣議決定には「国際協力」の名の下に自衛隊

の武器使用、後方支援の拡大まで含めた。戦争の道を更に拡大した。

◆ 政権にしがみつく公明党が合意案を提示した。

閣議決定は無効！  
闘い続けよう！